

論文審査結果の要旨

論文提出者	(氏名) 土橋佑基
論文審査委員	主査 都留寛治 印
	副査 城戸寛史 印
	副査 松浦尚志 印
論文題目	実験的チタン製アバットメントに施した陽極酸化処理がインプラント上部構造に用いる高透光性ジルコニアの色調に及ぼす影響
<p>(論文審査結果の要旨)</p> <p>学位申請者は本論文にてチタン製アバットメントに施した陽極酸化処理がインプラント上部構造に用いる高透光性ジルコニアの色調に及ぼす影響を検討している。アバットメント試料としては、無処理のチタン合金および陽極酸化を施したチタン合金 (gold と pink) の計3種類を実験群とし、ユニバーサル色のレジンを対照群としている。これらの試料にユニバーサル色およびオペーク色のセメントペーストを介在させジルコニアを装着し、非接触型歯科用分光光度計でジルコニア表面を測色している。対照群との色差を算出した結果、ジルコニア製上部構造の色調は陽極酸化処理を施したチタン製アバットメントの影響をうけることが明らかにされており、オペーク色セメントの使用はアバットメントによるジルコニアの色調変化の抑制に有効と結論づけている。</p> <p>公開予備審査会ならびに追加審査において、学位申請者より研究背景、目的、方法、結果および考察に関する明確な説明がなされ、適切な質疑応答がなされた。</p> <p>以上より、本論文はインプラント上部構造の審美性に関する研究を通じて歯科臨床に資する意義のある研究成果が報告されているものであり、学位論文に値すると判断した。</p>	